

目次

特集

文学の移動 / 移動の文学

2 巻頭言

- 6 阮攸の北使経路の再考  
野平宗弘
- 27 根無し草として生きる  
——シヨイヨド・ワリウツラとふたつの『赤いシャールー』  
丹羽京子
- 48 反マッコンド文学  
——二十一世紀キューバにおける第三世界文学と  
ダビー・トスカーナ『天啓を受けた勇者たち』  
久野量一

寄稿

- 59 正岡子規短歌における「写生」試論  
村尾誠一
- 76 「危機」の表象  
——「私」を語る機構と『歯車』  
柴田勝二

報告

- 102 文学の移動 / 移動の文学 (久野量一)
- 104 翻訳を考える①-④ (和田忠彦)
- 105 言語文化学部講演会「世界の色彩語の類型と進化：  
"ブッシュマン"の言語調査がもたらす新知見」 (中川裕)
- 107 ギジェルモ・エギアルテ氏講演会  
メキシコの二十世紀デザインと建築の扉 (久野量一)
- 109 中国語の苦手な台湾人  
——たった一つの、わたしのものではない  
日本語で語ってみる (温又柔)
- 112 ミャンマー・ドキュメンタリー上演と  
監督による質疑応答 (土佐桂子)
- 114 総合文化研究所 Workshop Series 第3回  
「文明の黄昏に咲くロシア文化の花  
——同伴者作家B・ピリニャークが  
奏でた革命のエチュード——」 (山口裕之)
- 115 国際シンポジウム  
PERCEPTION IN THE AVANT-GARDE  
アヴァンギャルドの知覚 (山口裕之)
- 118 「アレクシエーヴィチ氏を迎えて」 顛末記 (沼野恭子)
- 120 和田忠彦教授退任記念シンポジウム  
「遊戯の始まり」 (山口裕之)
- 122 翻訳を考える⑤ 境界の文学——旅の詩学 (久野量一)

書評

- 126 フアン・ガブリエル・バスケス著 / 久野量一訳  
『コスタグアナ秘史』  
『ノストローモ』は我々のもの、とフアン・ガブリエル・  
バスケスは言った  
柳原孝敦
- 130 田島充士、中村直人、溝上慎一、森下 寛編著  
『学校インターンシップの科学』  
知のシステムの転換とインターンシップ  
山本登志哉
- 133 村尾誠一著  
『和歌文学大系25 竹乃里歌』  
ガラス戸の内で  
住岳夫
- 137 スティーヴン・シェイピン、サイモン・シャッフアー著 /  
吉本 秀之監訳、柴田 和宏、坂本 邦暢訳  
『リヴァイアサンと空気ポンプ  
ーホップズ、ボイル、実験的生活』  
自然哲学における思弁と実験  
鈴木聡
- 142 アンナ・スタロピネツ著 / 沼野恭子、北川和美訳  
『むずかしい年ごろ』  
(無題)  
加藤雄二
- 147 イルマ・ラクーザ著 / 山口裕之訳  
『ラングザマー 世界文学でたどる旅』  
理想の読書  
沼野恭子
- 149 和田忠彦著  
『タブッキをめぐる九つの断章』  
旅の痕跡  
前田和泉

-- 編集後記